

―市は、子ども食堂や居場所づくりの推進を呼びかけている。民生委員、防災委員のように地域のために有効な活動ができるよう「居場所づくり推進委員」のような人を委嘱し、地域で積極的に活動できるようにしたらどうか。

↓地域づくりに関しては、地区センターを所管する企画政策課や社会福祉協議会の小地域活動などが連携しています。子ども食堂に関しては、地域ボランティアや社会教育委員、家庭教育支援員に参画いただいています。今後も地域にさまざまな居場所ができるよう庁内横断的に取り組むとともに、地域での子育て支援を推進していきたいと思えます。

―第2次御前崎市総合計画の中間評価・見直しの時期になった。基本計画のほぼ全ての「目標項目」に、客観的評価ができるよう、令和2年の「定量的目標指数」が設定されている。これを評価して市民に公表し、市民意見を聴取した上で、見直しや改善をすればどうか。

↓第2次御前崎市総合計画は、本年度が中間年度となります。年度当初に市の幹部で構成する「後期計画策定委員会」を立ち上げ、6月には現計画のこれまでの評価を実施するとともに、各課へのヒアリングを実施しました。また、市民代表を含む有識者で構成する審議会を11月に実施し、後期計画へのご意見をいただき

ました。12月には市議会へも報告しております。今後は、パブリックコメントを実施する予定です。

―各地区で伝承、建物、人物、自然、景観など誇れるものを探せばどうか。各地区に自然公園、ビオトープがあつて、山野草、樹があり、ゆっくり散歩してベンチで休め、冬には、地区センターや公民館に、自動販売のセルフカフェで話ができる場所がほしい。

↓地区センターは、イベントなどを通じて、地域の皆さまに利用していただける施設を目指しております。今後もより多くの皆さまに利用していただける施設になるよう努めてまいります。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

―門屋ホタルの里で、ホタルの養殖を始めて20数年が経過し、地元でも定着しつつある。自然発生を夢見てきたが難しい。自然発生させるためには人工の水路を作るしかない。予算が必要。私たちが活動できるうちに協力してもらえないか。

↓地域活性化や自然学習の場として大変良い影響を与えている取り組みと感じております。道路整備・維持管理の観点からは対応が難しいのが現状です。市には、地域の個性あるまちづくり活動を推進するための『まちづくり活動支援補助金』という補助制度があります。まちづくりに

つながる活動を自発的に行っている団体が対象となります。要件に当てはまれば、手作りで施設整備するための原材料の購入費や機材などの借り上げ料を補助することが可能です。活用を希望される場合は、企画政策課へ相談ください。

▼産業の活性化とまちのにぎわい

―茶業は先が見えており、耕作放棄地も増えている。仕事に就いていない人も多い。JAと協力し、市の作物の一大産地化を考えてはどうか。

↓農業者の高齢化や担い手不足などにより耕作放棄地が増えています。JAと連携しながら、農産物の普及や農業者、新規就農者への支援を引き続き行っていきます。

―マリノパーク御前崎に大型の遊具を設置し、遊んだ帰りにながら市場で買い物をしていただけるようにすればどうか。地元の子どもたちも遊べる公園を提案する。

↓今のところ大型遊具の設置は予定していません。また、市管理課が管理している28カ所の公園には、複合遊具や幼児用遊具が設置されています。芝生広場やビオトープなど、それぞれに特色がありますので、お子様とご利用いただきたいと思います。

―夏フェスのようなものをマリノパーク御前崎などで開催したらどうか。

↓マリノパーク御前崎の利活用促進の観点から、民間による集客イベントを誘致したいと思います。

―御前崎の風景と産物のフォトコンテストを行い、優秀作品を御前崎カレンダーにしたらどうか。

↓フォトコンテストは、市観光協会が実施しています。出展写真の活用については、今後も検討していきたいと思えます。

―御前崎市歌と、新しい御前崎音頭を制作したらどうか。

↓御前崎市歌は、御前崎市のイメージを創出し、親しみやすく誰もが口ずさめる歌として、一般公募による歌詞を採用し、平成18年度に作成しました。現在、新たな市歌や音頭は制作する予定はございません。

―なみまる、ふうちゃんのマスクを製作したらどうか。

↓今後の参考にさせていただきます。

―ギラヴァンツ北九州の静岡キャンプを御前崎市に誘致したらどうか。モンテディオ山形とサッカー王国のキャンプ地にしよう。

↓市では、スポーツによる交流・関係人口の拡大を目指すため、御前崎スポーツ振興プロジェクトを実施・展開しております。今後も、プロ、アマチュア問わず、多くのスポーツ人を呼び込んでまいります。